



## シンポジウム「日本の芸能と空間」 ～にっぽん文楽公演に寄せて

日本の伝統文化の特質は、人々の自然のなかの生活と深い結びつきを持ちながら育まれてきたことです。芸能の祝祭性、三味線や鼓などの自然との深い関わり、さらに四季折々に神社仏閣や河原など野外の仮設舞台で演じられてきました。にっぽん文楽は、この日本における芸能の特質をふり返り、大衆娯楽である文楽の原点に立ち返り、多くの方々に楽しんで頂こうと企画しました。この意味を考えるためにシンポジウムを開催します。また、シンポジウム参加者は舞台見学会への参加も可能となります。

日時：2015年2月23日（月）14：00

会場：ホテルグランドアーク半蔵門3階「華」参加費無料

パネラー：本城邦彦（竹中大工道具館常務理事）

齊藤裕嗣（東京文化財研究所客員研究員）

中村雅之（にっぽん文楽総合プロデューサー、横浜能楽堂館長）

司 会：葛西聖司（古典芸能解説者）

## 組み立て舞台建築 見学会

銘木の産地・吉野から切り出した檜をふんだんに使って、間口5間、奥行4間と太夫座を設けて文楽専用舞台を建築します。その舞台と約300席の座席を配し、その周りを約100メートルの幔幕が取り巻き、劇場空間を作り上げます。限定50名で組み立て舞台の見学会を開催します。

日時：2015年3月19日（木）15：00から16：00

会場：六本木ヒルズアリーナ 組み立て舞台

案内講師：田野倉徹也（建築家）

組み立て舞台監修：本城邦彦／組み立て舞台設計：田野倉徹也／組み立て舞台建築：菜の実建築工房

問い合わせ、参加申込みは、にっぽん文楽プロジェクトまで、メールか電話でお申込みください

電話：03-6233-8948

E-mail：info@nipponbunraku.com

にっぽん文楽プロジェクトホームページ：http://www.nipponbunraku.com

お席に限りがございますので、お早めにお申込みください

飲みながら 食べながら 文楽

## にっぽん文楽

Nippon Bunraku

日時：2015年3月19日～22日

全8回公演

①12：00～13：30

②18：30～20：00

「二人三番叟」 豊竹英大夫、鶴澤清介、吉田玉女ほか

「日高川入相花王 渡し場の段」 竹本三輪大夫、竹澤團七、豊松清十郎ほか

席料／2,000円（全席自由）。インターネット事前予約のみ。

会場／六本木ヒルズアリーナ